

2 学期始業式あいさつ

今年の夏は新型コロナウイルス感染症対策と、毎日のように発令された高温注意情報に裏付けされるように、命に関わるような暑さ対策、熱中症対策と、自分の健康や安全を守るためにどのような行動をとるべきかなど、日頃からの自らの健康、感染症に対する予防、拡大防止意識が問われた夏休みでもありました。

今日 2 学期を始めるにあたって、皆さんが大きな事故もなく元気に揃ったということは、健康・安全に対する意識が高かったことの現れだと思います。

皆さんもニュースで聞いたりしてよく知っていることだと思いますが、松江市の高校で 100 人を超えるクラスターが発生しました。1 つの高校でこれだけの集団感染が発生したのは、熱中症と新型コロナウイルスの判断が難しく、対応が遅れたことも一つの要因だといわれています。危機管理で最も重要なのはリスク管理で、想定されるリスクが起こらないように、今回のことであると新型コロナウイルスの集団発生というリスクが起きないように、そのリスクの原因となる事象の防止策を検討し、実行に移すことです。感染させない感染しないために、集団発生しないために、防止策をたて実行に移すことです。そして、感染症が発生した時、迅速に、冷静に対応する初期対応も重要となります。この様な状況下では、新しい日常を確立し、異常があったときは迅速に対応できる状況を作っておく必要があります。

今日からの 2 学期もしばらくの間は熱中症の対策をとりながら、そして感染症の対策をきちんと講じながら、これからの学校生活を送っていくこととなります。それは、手洗い・消毒だったり、密な状況でのマスクの着用、三密を避け換気を行うなどの日常を徹底して行うこと、そして毎朝の検温とその報告など自分の感染症予防に向けた意識を高め、その責任を果たすことです。特に朝の検温や健康状況の把握は感染拡大を防ぐ意味からも重要とされていますので、生徒の皆さんは朝検温し、報告をしてから登校するという新しい生活習慣、新しい日常を全員が実践できるようにしてください。

2 学期の始まりにあたり私が皆さんにもう一つお願いしたいのは、まず 3 年生は自分の進路を決める学期となります。手を抜かず最後まで挑戦してください。当たり前のことを当たり前に行うように…。それが手を抜かず最後までやるということです。そして、今学期は文化祭、体育祭、邇摩高フェアと大きな行事が続きます。皆さんがこれらの行事を創り上げていく過程では、様々な意見の違いや考え方の違いから、うまくいかないことも出てきます。その時にどうするかを考え実践することが社会に出てからの皆さんの力になります。話し合うこと、認め合うこと、相手を尊重し、自分と違う意見も尊重すること…この様な取り組みを通して集団としての力、組織力を高めてください。そして、これらの行事や授業・実習、部活動等を一生懸命取り組む皆さんの美しい姿が多くの人に勇気と感動を与えるのでしょ。

今、半沢直樹というテレビ番組が話題になっています。「やられたらやり返す 倍返しだ！」という主人公が発するセリフが痛快なドラマです。これまでコロナの影響で多くの行事や部活動の大会が中止になったり延期されたりしました。“これまでコロナにやられた分、今学期は倍返しだ…”こんな気持ちで頑張ってください。皆さんの活躍を期待します。